



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 6 年度 第 2 号
津山教育事務所 5 月

5月13日、AP訪問スタート！

AP訪問では、校長先生のビジョンと戦略が少しでも実現していけるよう、参加者全員で考えを出し合いながら有意義な時間としていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問

AP訪問第2フェーズ

学校がより主体的かつ組織的に教育活動の質の向上を図る学校風土を醸成していくことができるよう、管理職のビジョンと戦略を支援することができればと考えています。

「誰が」「何を」「どれくらいの頻度で」「どのように」

- APの内容は、それぞれに、校長先生方の思いや子どもの成長への願いが詰まっています。
- AP訪問では、学校のねらい（思いや願い）を明確に整理し、目指す子どもの姿に近付いているかを授業で見取るとともに、参加者全員で考えを出し合いたいと思います。
- 学校を主役として、学校が設定した協議題や中間期に向けた取り組みについて、今後の方針をともに考えていきたいと思います。
- APを基に、学校としての主体性の発揮と、それをいかに組織的に実行していくかがポイントになります。
- APの「取組指標」の欄は、「誰が」「何を」「どれくらいの頻度で」「どのように」行うのかを『教職員の行動指標』として記述することが中心となっています。そうすることで取組の具体性が増し、実効性も高まると考えています。さらに、担当や担任だけでなく学校全体で取り組む体制が向上すると考えられます。
- 協議の最後に「振り返り」の時間を設定し、次への動きにつなげます。
- 実効性を高めるためには、「成果と課題を次の改善につなげる場の設定（校内研修や授業研究会等）」が大切です。研究主任の推進力が期待されます。
- 各学校の評価・改善サイクルを回していきましょう。
- APを学校づくりの中心として、学校力を高めていきましょう。

アクションプラン（AP）の作成・取組、学校経営等でお困りのことがありましたら、ご遠慮なくアドバイザー **金田まで** ご相談ください。連絡先：津山教育事務所義務教育支援課学力向上班 TEL（0868）24－8705